

千葉市史編さん担当

〒260-0856

千葉市中央区亥鼻 1-6-1

千葉市立郷土博物館

TEL 043-222-8231

Chiba-shishi News Letter NO.1 2008.10

「ちば市史編さん便り」の創刊によせて

千葉市史編纂会議

会長 吉田 伸之

このたび、ニューズレター「ちば市史編さん便り」を創刊することになりました。これは、市民のみなさんと、千葉市史編さん事業とを結びぎずなの一つとして企画されたものです。

千葉市史の編さん事業は、1969年に始まり、現在40年目に入っていることになります。これまで、千葉市域の近世・近代を中心に、史料の調査やその保存に力を注いできました。また『千葉市史』通史編や近世史料編、『絵にみる図でよむ千葉市図誌』などの編さんに長期に亘って取り組み、数多くの成果をあげて参りました。また、毎年刊行している『千葉いまむかし』も次号で22号となり、千葉市史編さん事業の様子をお伝えしてきました。そして、「市史研究講座」や「古文書講座」などを通して、市民のみなさんが千葉市地域の歴史を学び調べるための機会を広げてきました。

21世紀に入った現在も、千葉市域には歴史資料が豊富に残っています。これらは、今を生きる千葉市民のみなさんにとって、かけがえのない過去からの贈り物であり、未来の市民に伝えねばならない地域の宝物です。そして、こうした歴史資料を調査し研究するなかで、「千葉市らしさ」とはなにか、それはどんな歴史的背景を持つのかを不十分ではありますが考えてきました。今後は引き続き、千葉市域の歴史を市民の大切な文化遺産として育み豊かにすることが、市史の編さん事業には求められていると思います。

今回、あらたにニューズレター「ちば市史編さん便り」を発行し、千葉市史編さん事業では、いまだどんな企画が進められているのか、どのような作業が行われているのかなどを、講座や研究会の開催日程やその内容、刊行物のご案内などとともに、随時お知らせしてゆきたいと考えました。また、市民のみなさんが、千葉市史編さん事業に対して何を期待されているのかを伺うための媒体にもなれば、と希望します。

ところで私は、千葉大学教育学部に勤めていた1980年頃から千葉市史編さん事業に参加し、当時編さん室におられた今井公子氏のご指導・ご援助を得ながら、『史料編7 近世』の編さんや、『絵にみる図でよむ千葉市図誌』の企画編集などに携わって参りました。はなはだ不勉強ではありますが、自分自身の勉強にとって、実に多くの事を学び、また刺激を得ることができました。この事業が今後も継続・発展し、地域の歴史が市民の方々にとってより身近なものとなることを願っています。私も微力ながらそのお手伝いができるように努力してゆきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

(よしだ のぶゆき 東京大学大学院人文社会系研究科教授)

千葉市の歴史の集大成

千葉市の歴史をもっと知りたい・学びたい方必携です!!



『千葉市史』史料編2～9 (以下続刊) 発売中

すべてB5判	史料編2	5660円
	史料編3～7	5150円
	史料編8	4500円
	史料編9	3000円

※史料編2～9はすべて近世の史料集です
単行本『千葉市南部の歴史』 A5判 1030円
『社寺よりみた千葉の歴史』 A5判 1440円
史料編別巻『天保期の印旛沼堀割普請』 B5判 4100円
絵図地区図集『絵にみる図でよむ千葉市図誌』
(上下巻) A4判 各6500円
市史研究雑誌『千葉いまむかし』 6・9・10・12～21号
B5判 (価格は各号毎に異なります)

通史編・史料編1は完売いたしました。

残部のあるものについては千葉市立郷土博物館でお求めになれます。郵送をご希望の方は、千葉市史編さん担当までお問い合わせ下さい。

ちば歴史散策

第1回 海の療養所「海気館」(稲毛)



『千葉県博覧図』(国書刊行会)より
明治26～29年頃の様子

この夏休み、海へ行かれた方も多いと思います。現在、海水浴というと県内ではどうしても外房方面になりがちです。しかし、明治・大正・昭和の時代には、千葉市周辺の海は東京から近いという地理的な理由から海水浴客が数多く訪れ、一大避暑地となっていました。

稲毛海岸には、明治21年(1888)に「海気館」が設置され、多くの人が訪れています(左図は当時の様子)。この海気館、「海気療養所」として医学士の浜野昇が設立したもので、海水浴場のほか、遊技場や運動場などを備え、医師も常駐していました。当時、海水浴は様々な病気に対する治療法の一つであり、海気館はそれに応じて作られた施設でしたが、療養施設としてはかなり充実したものでした。

海気館はのちに千葉町の加納屋(旅館などを営業)の所有となり、療養施設というより旅館的な色彩が強くなっていきます。戦後のものと思われる海気館のリーフレットには、「温泉旅館」として紹介されています。

海気館は現在ではその姿を見ることはできませんが、地続き東側に浅草「神谷パー」で有名な神谷伝兵衛の別荘(国登録文化財)がありました。当時敷地内にあった共同住宅を改修した市民ギャラリーいながに隣接して、こちらは当時のままの姿の洋館を見ることができます。

参考:『絵にみる図でよむ千葉市図誌』(下)

アクセス:京成千葉線京成稲毛駅下車徒歩10分

千葉市史主催の各種イベントをご案内します

1 古文書講座

初級古文書講座

古文書初心者を対象とした講座。江戸時代に書かれた文書のコピーを使い、くずし字の基礎を学ぶ講義形式の講座です。定員は30名。同内容で前後期2回開催。後期日程は、11月15日・11月22日・12月6日・12月13日・12月20日(何れも土曜日午後1:30～)。

※11月1日号市政だよりで募集予定です。

中級古文書講座

古文書に慣れ、ある程度読める方を対象としています。江戸時代に書かれた史料のコピーをテキストとして、輪読形式で行う講座です。定員は30名。日程は、10月29日・11月5日・11月12日・11月19日・12月3日(何れも水曜日午後1:30～)。

※10月1日号市政だよりで募集、受付は終了しました。

お申込方法

どの講座も往復葉書でのお申し込みです。詳細については市政だより・千葉市立郷土博物館のHPなどをご確認ください。
http://www.city.chiba.jp/kyoiku/shogaigakushu/shogaigakushu/kyodo/kyodo_top.html

申込み多数の場合抽選となります。予めご了承ください。

2 市史研究講座

千葉市域のさまざまな歴史的事柄について、各回専門の講師を招いて行います。講義形式の講座です。定員は各150名。

※前期・後期とも受付は終了いたしました。

前期	1	6月21日(土) 長原亘氏(千葉市教育振興財団) 千葉市の古墳 ー後期・終末期古墳の分布からわかることー
	2	7月5日(土) 築瀬裕一(千葉市立郷土博物館) 千葉市にあった二つの御殿
後期	1	9月13日(土) 天下井恵氏(白井市文化財保護審議委員) 江戸時代の大仏鑄造と駒形大仏
	2	10月4日(土) 中澤恵子氏(千葉市史編集委員) 稲毛海気療養所と浜野昇
	3	10月11日(土) 池田順氏(千葉市史編集委員) 千葉県における自治体警察

3 ちば市史ミニ企画展 「下志津軍用地と戦後の開拓」

戦後行われた下志津軍用地の開拓の歴史を紹介する展示です。

期間:平成20年11月1日～平成21年3月15日

会場:千葉市立郷土博物館2階

千葉市の歴史に関わる資料を探しています!

市史編さん担当では、千葉市の歴史に関わる資料を探しています。皆さまのお宅に古い文書や写真などございましたら、ぜひ市史編さん担当(TEL 043-222-8231)までお知らせください。

また、現在、近現代編の刊行に向けての聞き取り調査もおこなっています。戦時中や戦後の体験など、貴重なお話をぜひお聞かせ下さい。

あとがき

ちば市史編さん便り第一号をお届けします。

手探りの状態での発行ですが、少しでも市民の皆さまに市史編纂担当の活動をご理解いただけたら幸いです。今後の活動の参考にしていきたくと思いますので、ご意見・ご感想などありましたら、どしどしお寄せ下さい。